みんなの文芸

引間豊作選　投稿数19句

ふと闇へ耳傾けて虫を聴く　皆野　市川　岳樹

（評）秋もなかばとなると、日中は物影や草叢に潜んでいた虫類が、にわかに存在を誇示するかに、声を限りとすだくようになる。もっともこれは、求愛の為の自己顕示であって、当の虫類にあっては、手練手管の方法はこれしかなかろう。夏が暑かったので、虫が鳴きだすとやっと秋になったと安堵できる。盂蘭盆会近くに先祖の墓を洗ったり、墓地の除草や清掃をしたり、花筒をかえたりする。墓参は年末年始・春秋彼岸・故人の忌日などつねに行われるが、季題としては供養月の盆を中心とした墓参（墓洗う）が秋季で定着している。

亡き妻と無言の対話墓洗う　皆野　関根　助市

鬼灯（ほおずき）を鳴らす遊びも遠きかな　三沢　新井　弘延

慌て合う吾（あ）とかまどうま夜の廊に　三沢　眞下　杏子

袖丈を選べる朝や秋に入る　三沢　新井　民子

天高し弓一筋の余生かな　三沢　澤野　恒平

留守居婆につるべ落しの日の赤し　三沢　長谷河ソノ

木々の葉のそよりともせず今朝の秋　三沢　鈴木　貞恵

誰まつや谷間に百合の見え隠れ　皆野　加藤マリ子

投げ入れの秋の七草予約席　皆野　根岸　詩子

赤蜻蛉飛び交う七草寺めぐり　皆野　源氏　和幸

庭に咲く笹百合の花夕月夜　金崎　堀口あいの

ホームにてあつさ知らずで九月来る　下日野沢　鈴木　キク

中田久恵選　投稿数21首

東京に五輪決定聖火台生命（いのち）かけたる匠を悼む　金沢　田中　幸枝

（評）感慨深く「生命かけたる匠を悼む」と結んだ秀歌である。あの時から半世紀、東京に再び聖火が灯されることが決まった。ここから又新しい歴史が生まれるが、これから七年、日本の生き方は今まで以上に世界から注視される。九年前からの悲願と共に震災からの復興と原発事故の収束である。汚染水問題で大見えを切った安倍首相の責任は重い。

健康な五体の恵み長寿なる喜び深く夫のうまれ日　皆野　新井　愛子

魅了せし端正な指も三十年武骨と化して家族を支ふ　皆野　豊田喜美恵

弟の形見となりし岩ひばに水をやりつつ瞼も濡れる　下日野沢　浅見　豊子

勤め来て畑に鍬振る吾子の背に彷彿と見る夫の俤　三沢　長谷河ソノ

急逝の友の遺影笑みており残暑の仏間に在りし日偲ぶ　皆野　根岸　詩子

空黒く竜のようなるもの昇る通り魔のよう竜巻の跡　三沢　鈴木　貞恵

慶寿祝ぐ招び状に手を合わせけり父母の享年越えて八十　三沢　眞下　杏子

葛づるを手繰りてみれば何処（いずこ）まで此の勢ひを欲しとも思ふ　三沢　新井　叶子

青柚子の香りあふるる厨にて郷思ひ出づタチャイム聴く　三沢　新井　民子

思い立ち悠々めぐり句碑を詠み心に刻む合歓の里路に　皆野　源氏　和幸

山の道あけびや栗の実を眺め自然の恵み故郷楽し　皆野　関根　助市

ウォーキング出かける時刻（とき）を定めると馴染みの顔にいつもの場所で　皆野　引間　万亀

昭和六十年を振り返りみれば日航のはかなく逝きし命かなしき　皆野　加藤マリ子

お泊まりに農園ホテル夢のようやさしい心で気遣う娘　下日野沢　鈴木　キク

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して総務課へお寄せください。

8日必着

1人1句、1首に限ります。

1歳のお誕生日おめでとう

ほのかちゃん
戦場・土京区
大嶋　一也さん
彩香さん

1歳のお誕生日おめでとう。

愛来（あいら）ちゃん
駒形区
関河　暁さん
広子さん

やんちゃな愛来ちゃん☆
これからもすくすく愛らしく育ってね。

柚音（ゆずね）ちゃん
駒形区
四方田征也さん
千春さん

かわいいゆずちゃん♡
元気で優しい子に育ってね！

陽太（ひなた）くん
根岸区
富田　晃祐さん
瑛子さん

いつも素敵な笑顔をありがとう♡
元気に育ってね☆

隆太（りゅうた）くん
原区
井上　雄矢さん
美樹さん

優しくたくましい
男の子になってね☆

※満1歳の赤ちゃんを募集します。11月号の締め切りは、10月10日㈭まで。ホームページからも応募できます。